

国家基本政策委員会合同審査会ニュース

H22.2.17 第174回国会第1号

2月17日(水) 第1回の合同審査会が開かれました。

1 国家の基本政策に関する件

・谷垣禎一君(自民)及び山口那津男君(公明)が、鳩山内閣総理大臣と討議を行いました。

(討議者及び主な討議内容)

谷垣 禎一君(自民)

- ・鳩山内閣総理大臣の資金管理団体に係る政治資金規正法違反事件について、自浄作用を果たすか、説明責任を果たすか、責任をとるかのいずれかを行わないと国民は納得しないのではないか。
- ・鳩山内閣総理大臣は、小沢民主党幹事長の資金管理団体に係る政治資金規正法違反事件について、民主党代表として、小沢民主党幹事長に対して説明責任を果たすように言うべきではないか。
- ・徹底的に行政のムダを省くことで財源を確保し、消費税を4年間は引き上げないという考えに変更はあるか。変更がないのであれば、4年間どのように財政運営を行うのか。数値目標を明確にした財政運営の見通しを立てるべきではないか。

鳩山 内閣総理大臣

- ・企業・団体献金の全面禁止を実現するため、野党にも協力してもらいたいと考えるが、自民党総裁としては如何か。

山口 那津男君(公明)

- ・政治不信を払拭するために、政治家の監督責任の強化及び企業・団体献金の禁止について与野党での協議機関の設置と参加を求めているが、これについて明確な回答をいただきたい。
- ・日米関係について、現在、普天間基地移設問題等により良好な関係とはいえないが、将来、日米関係を改善したとアメリカの政治家にいわれるよう、自らの政治姿勢を正していくことが求められていると思うが、その感想を伺いたい。